

はじめに

2012年の日本の貿易（通関ベース）は、輸出が前年比2.4%減の8,013億ドル、輸入が4.2%増の8,886億ドルとなり、輸出額は減少しました。その後も減少傾向が続き、2013年も7,193億ドル（前年比10.2%減）となっています。

振り返れば日本の貿易額は、輸出は2007年に、また輸入は2008年に過去最高額に達しましたが、2009年はアメリカ発の金融危機の影響を受け、輸出は前年比25.2%減、輸入は前年比27.0%減と大きく落ち込みました。その後回復傾向にありましたが、2011年は国内では東日本大震災が、また海外ではEU諸国の政府債務問題などをはじめとした諸問題があって、輸出は減少傾向となりました。一方、輸入では原子力発電の代替エネルギーとして電力用LNGを中心とした需要が増加しており、現在も拡大傾向にあります。

このため貿易収支では、2011年は実に31年ぶりに赤字となり、さらに2012年には872億ドル（前年は323億ドルの赤字）の赤字となり、赤字幅は拡大傾向にあります。

国・地域別にみると貿易相手国としては、輸出入ともに中国が第1位で、そのシェアは輸出が18.1%、輸入が21.3%となり、第2位はアメリカで輸出は17.6%、輸入が8.6%となっています。これに続いて輸入では、第3位にオーストラリア(6.4%)、サウジアラビア(6.2%)、アラブ首長国連邦(5.0%)と続き、また輸出では、第3位が韓国(7.7%)、台湾(5.8%)、タイ(5.5%)、香港(5.1%)と続きました。なお、この順位にここ数年大きな変化はありませんでした。

このような状況のなか、伏木税関支署統計によると、富山県管内の2012年の貿易は、輸出が1,717億円（前年比5.7%減）、輸入は1,515億円（同7.5%減）で、総額3,233億円（前年比6.6%減）となり、2010年以降は回復傾向にありましたが、2012年は輸出入ともに減少に転じました。

本調査報告書は2013年10月、富山県内の事業所1,641社に対し実施し、133社から回答を得て、とりまとめました。本書が関係各位の皆様の参考になれば幸いです。

最後に本調査にご協力いただいた富山県内企業、事業所の皆様にはこの場を借りて厚くお礼申し上げます。

富山県
(公財)富山県新世紀産業機構
環日本海経済交流センター